

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 加藤 敏昌  
幹事 青山 敏郎  
会報委員長 小池 宗

No. 42

## ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは 希望をもたらし

1986~87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第236回例会 昭和62年4月28日(火) 晴

### ◇“我等の生業”

### ◇出席報告

会員 57名 出席 39名  
出席率 68.42%

前回 4月21日 (修正出席率)98.25%

### ◇ビジター紹介 4名

### ◇お誕生日祝福

和田君(4/28)、秋山君(5/2)

### ◇ニコボックス

新美 敏君、加藤 正義君 早退させていただきます。

和田 正敏君 早退させていただきます。誕生日祝い。

秋山 茂則君 誕生日祝い。

矢野 勝久君、加藤 大豊君、松居 敬二君、

加藤 敏昌君 結婚記念日祝い。

### ◇青山幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方は2F橘の間にお集まり下さい。

### ◇加藤(敏)会長挨拶

前々から癌治療の主流には、あくまで手術方法により病巣を除去する以外にはありませんが、術後の再発防止、或いは切除不能の癌に対して色々な治療方法が行われております。皆さん御承知のような制癌剤、放射線療法は勿論のことその他色々な方法の組み合わせにより、癌を押しさえこうとする治療方法があります。単一の方法を採るより色々な組み合わせを旨く行なう事により、相当な効果が上がっております。一つ一つの治療方法についてお話をするよりは、会員諸君のあまり目に触れない治療方法を「ピックアップ」して「スライド」で御説明申し上げます。癌には極く稀には、自然治癒もある事も申し上げておきます。癌治療を僅かな時間でお話する事は、

非常に困難ですので、2、3回に分けて今後お話を続けさせていただきます。本日は、局所動脈内選択的注入療法、体内植込み式療法、除放射性製剤の留置による抗癌剤の特殊な治療方法をお話し申し上げました。

### ◇第276地区協議会報告 於4/26(日)岡崎市民会館 — 会長部会 — 野村次期会長

本年7月より260地区は分割され、長野県は260地区、愛知県は276地区となるが、今回は愛知県276地区の協議会である。

午前は田中徹ガバナーノミニの点鐘により本会議が行われ、同氏から基本方針につき説明が行われた。午後は8つの分科会が持たれたが、そのうち、会長部会の概要を記す。

田中ガバナーノミニ議長となり、ビデオにてR.I.次期会長チャールズC. ケラー氏の挨拶を紹介。1987-88年度国際ロータリーのテーマは「奉仕に結束—平和に献身」である。

次に2つの地区に分割されることによって、地区資金が多少増加することになるので、予算の承認を求められ、可決された。

次期会長に就任する者の心構えにつき、田中ガバナーノミニより8項目に渉る要望が出された。又次期ガバナーとしては、

○会員は純増3%を達成したい。何故ならば、数は力であるからだ。量か質かの問題は、普通の人であれば結構であると言うことだ。

○情報と広報活動をしっかりやる。R.I.の情報を会員によく徹底させ、地域社会との連繫をよくすることに努める。

○長野地区では着実にクラブ数が増えているが、愛知地区では進んでいないので拡大に努力して欲しい。

○各クラブ共楽しいロータリーに是非して欲しい。心から切望している。

尚ポリオプラス計画で、日本は1人2万円として、5,000円ずつ4年間で20億円を分担するが、黒字国日本には更に20億円拠出の要求あり。これに対しては長野、愛知両地区とも、円高不況の現況では、この要求を受入れることは出来ないとして反対を表明しているが、まだ本部よりの返事はない、との説明があった。

— 幹事部会 — 深見次期幹事

- ① 沢田 貞市君(半田RC)のリーダー他の挨拶及び注意事項が述べられた。幹事の任務は会の運営にもっとも大きな役割を持つものであり、会の発展に寄与してほしいとの要請があった。
- ② ローターリー手続要覧、幹事要覧等を勉強し、会の運営に支障がない様に注意してほしい。
- ③ 世界のロータリアンの人口比は、アメリカ650人に1人、オーストラリア400人に1人に対し、日本は1,200人に1人の割である。クラブの適性規模を十分考慮の上、会員の増強を計ってほしい。
- ④ 「ロータリアンの友」の英語版があるので、照会してほしい。

— クラブ奉仕部会 —

武内次期クラブ奉仕委員長

例会への出席、職業分類、新入会員の資格、クラブ会報、親睦活動、マガジン(ロータリアンの友)、会員選考、プログラム、広報、ロータリアン情報、SAAの役割等、クラブ活動全般にわたって熱心な討議、質疑応答が行われた。

— 社会奉仕部会 —

魚津次期社会奉仕委員長

- ① 社会奉仕の理念が今回のRIの改定として今迄明文化されていなかった事が今回復活した事
- ② 浜松RCの提案がRIで採択された事として地球に緑と酸素を増やそうという事で全員一人当たり10本の植樹をしてほしいという事  
分科会はその件で具体的に種々各クラブの方より具体的な質疑応答が行われ、仲々活発な意見交換が行われました。社会奉仕の活動が広く一般社会の人に認識されるようマスコミ等を通じ行ったらというお話があり、有意義な会の内に終了いたしました。

— 国際奉仕部会 —

黒須次期国際奉仕委員長

国際奉仕部会はロータリアン財団部会、米山奨学会部会と3部会合同で第6分科会として、岡崎商工会議所で森泰樹、大隈孝一両パスト

ガバーナをリーダーとして開会された。

国際奉仕部会は国際奉仕委員会のほかに、青少年交換小委員会、世界社会奉仕小委員会、世界親睦小委員会などからなっており、それぞれの委員会には委員長、副委員長、小委員長、委員があり、精力的に活躍している。

この主な行事は青少年交換と世界社会奉仕である。青少年交換は本地区の高校生をアメリカ、カナダ、オーストラリアの高校へ1年間留学させ、同時に同数の外国人の高校生を受け入れて、国際理解と親善を身をもって体験させることを目的としている。

世界社会奉仕は発展途上国における地域社会開発、教育、食糧生産、保健などに物質面、技術面において援助を行うことを目的としている。

◇4月度理事役員会議題

- 1. ポリオプラスプログラムとしてボンベイより「世界の人形」展示会を計画、その参加依頼の件  
5月19日(火)国際奉仕委員長会議において検討してもらう。
- 2. 6月最終例会(30日)の件  
立食ワインパーティ
- 3. その他  
新しく276地区のロータリアン旗を2枚作成。

— 麻雀会 —

(於:松楓閣 4/14(火) PM 6:00~)

RANK	NAME	MARK
優勝	安藤 銀之助	46,800
2位	北野 寿三郎	38,900
3位	小林 明	36,800

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋北RC 5/22(金)F.S.M.の為、加茂免にてPM 5:30より
- 名古屋空港RC 5/25(月)東尾張分区親睦ゴルフ大会の為、5/22(金)名古屋グリーンカントリークラブにてPM 8:30より
- 名古屋瑞穂RC 5/28(木)一泊例会の為、5/24(日)25(月)賢島にてPM 6:00より
- 名古屋西RC 5/28(木)職場例会の為、キンピール名古屋工場にてPM 12:30より

◇次回例会(5月12日)

講演 “私と芸”  
名妓連組合長

西川 喜久氏 (紹介 鈴木君)

◇次々回例会(5月19日)

講演 “寺社建築”  
会員 魚津 常義 君